

令和4年度版  
尾鷲市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
検証シート

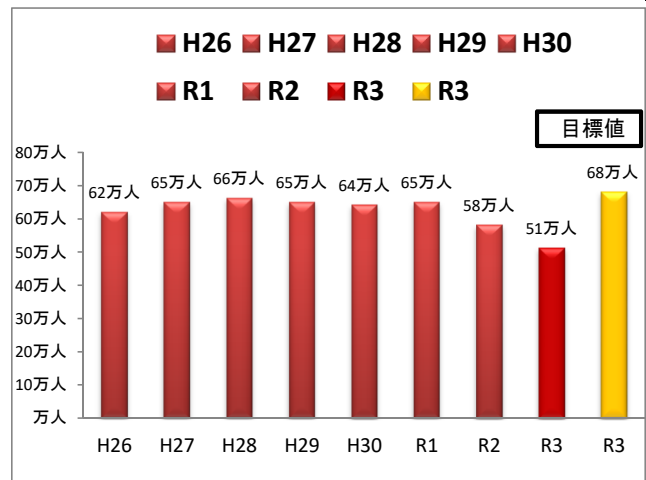
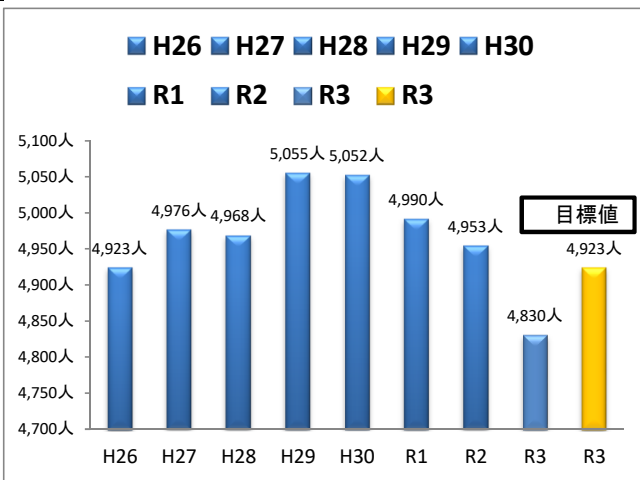
令和4年11月  
尾鷲市

## 基本目標 1 安定した雇用を創出する

### 施策概要・目的

本市における安定した雇用を創出するためには、地域産業において後継者育成やブランド化に取り組むなど、農林水産物を安定供給できる体制を構築する必要があります。また、尾鷲の魅力である「食」「特産品」「熊野古道」など、地域の魅力を市内外に情報発信するとともに、地域の特性を生かした事業・企業誘致や起業支援を行い、新たな経済活動を通じて、雇用の創出を目指します。

指標名	現状値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R3)
市内事業所への就業者数	4,923人	4,976人	4,968人	5,055人	5,052人	4,990人	4,953人	4,830人	4,923人
観光入込客数 (過去3ヶ年平均値)	62万人	65万人	66万人	65万人	64万人	65万人	58万人	51万人	68万人



KPIの達成状況 R3実績値／R3目標値			取組項目(小)の今後の方針について	
①100%	11	42%	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	0
②100%未満 75%以上	7	27%	②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	6
③75%未満 50%以上	3	12%	③特に見直しをせず事業を継続する	4
④50%未満	5	19%	④継続的な事業実施を予定していたが中止する	0
合計	26	100%	⑤当初の予定通り事業を終了する	0

### 地方創生会議からの意見等

マハタについては、市内向けの流通を見据え、業界との相談のうえ、「一物二価」(市内向け価格と市外向け価格)の検討も行ってもらいたい。

ヒロメの養殖については、高水温への耐性を持った種苗の研究が必要であると思われる。

尾鷲ヒノキを利用したアオリイカ産卵床の設置については、事業が無駄にならぬよう、アオリイカの資源状態を把握しながら実施してもらいたい。

漁場の水質調査については、ニーズの高まりから、広く漁業従事者に知らせるようなシステムを検討のうえ、拡大して行ってもらう。

中学校での調理体験の実施については、新型コロナウイルス感染症が収束していけば実施回数は改善していくと理解するが、今後の感染状況を考慮し、親子・家庭で取り組むといった内容のWEB配信の手法も検討してもらいたい。

尾鷲産材を使用した住宅建設については、令和4年度からより利用しやすい補助金制度に見直していることから、「尾鷲の家は尾鷲ヒノキで玄関をデザインする」というような部分的な利活用を広げて行ってもらう。また、北勢、中勢など県内へのアピールを中心にぜひ行ってもらう。

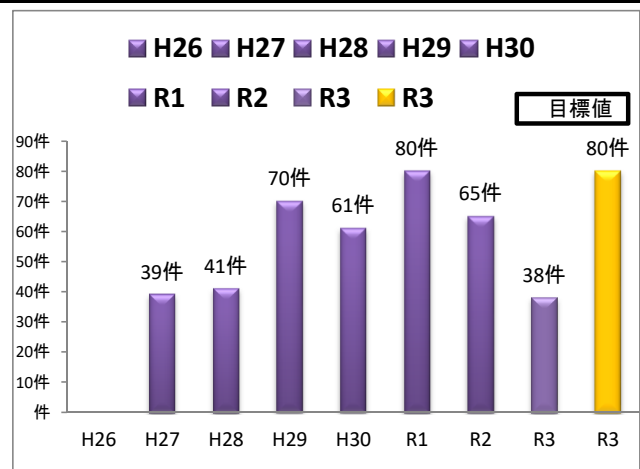
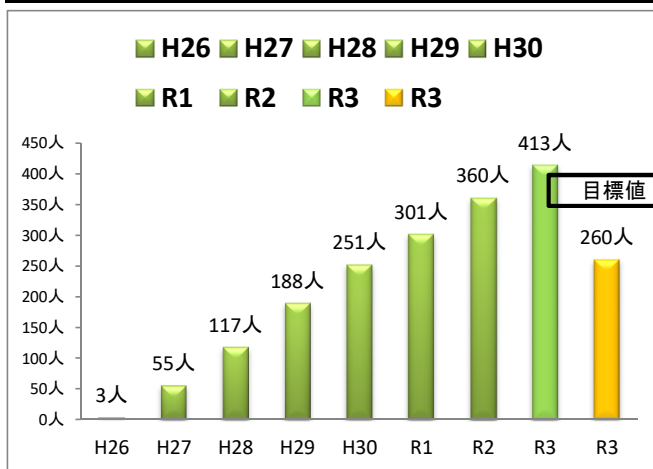
## 基本目標 2 新しいひとの流れをつくる

### 施策概要・目的

豊かな自然、歴史ある文化、温かい人情。そんな暮らしを求めて地域への定住移住を目指す人の流れを本市に作り出すために、各地域に存在する空き家を活用した、多彩な施策を講じていくとともに、地域団体はもとより関係企業などとも連携してスムーズな受け入れが可能となる仕組みづくりを行います。

また、先進事例を調査研究し本市独自の定住移住施策を作り込むとともに、おわせ暮らしを地域情報として発信し、定住移住につなげるとともに、他地域から本市を応援してくれる、ファンづくりを推進していきます。

指標名	現状値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R3)
定住移住に係る行政窓口を活用した定住移住者数(累計)	3人	55人 (単年52人)	117人 (単年62人)	188人 (単年71人)	251人 (単年63人)	301人 (単年50人)	360人 (単年59人)	413人 (単年53人)	260人 (7ヶ年累計)
定住移住相談の実施件数	-	39件	41件	70件	61件	80件	65件	38件	80件



KPIの達成状況 R3実績値/R3目標値		取組項目(小)の今後の方針について		
①100%	4	50%	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	1
②100%未満 75%以上	0	0%	②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	0
③75%未満 50%以上	1	13%	③特に見直しをせず事業を継続する	3
④50%未満	3	38%	④継続的な事業実施を予定していたが中止する	0
合計	8	100%	⑤当初の予定通り事業を終了する	0

### 地方創生会議からの意見等

定住移住については、これまでの取り組みから数値的に見ても成功していると言える。すでにユーチューブ等により尾鷲の魅力を発信しているとのことだが、住んでいる方の実像・生活を発信するなどの工夫をし、引き続き情報発信に努めてもらいたい。また、募集イベント以外で尾鷲に移住された方へのサポートもお願いしたい。

ふるさと納税については、地域の事業者と尾鷲ならではの返礼品を作りあげることで、件数を大きく伸ばしており、地方創生への効果は非常に大きい。返礼品については、いかに選んでもらえる名称をつけていかなどの工夫をしていくことも重要である。

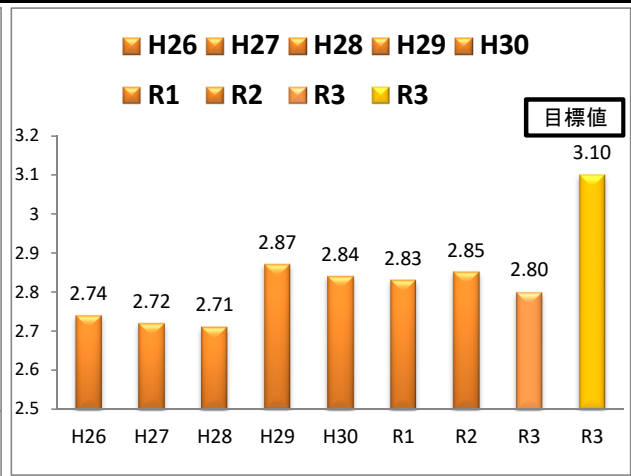
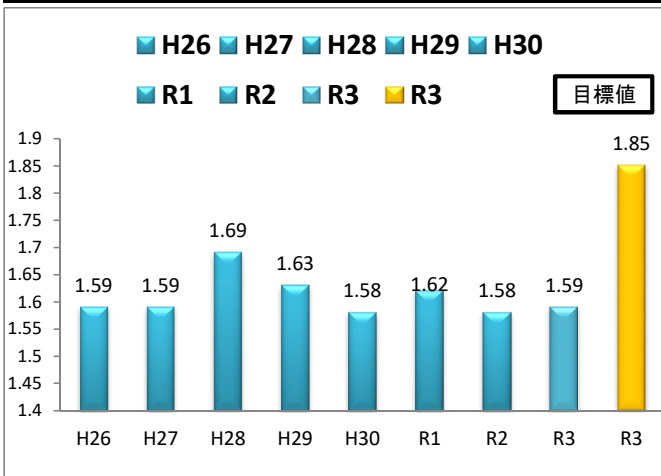
尾鷲高校の「まちいく」の取り組みについては、尾鷲の自然・文化が好きになるという点で成果が上がっていると思われるが、それに加え、今後は、尾鷲の企業・産業が好きになるという視点を入れてもらいたい。高校生が地元の企業・産業を知る機会がほとんどないまま市外へ出て就職してしまうことから、市内にある企業・産業を紹介する取り組みを行い、定住を図っていく必要がある。加えて、親世代への市内企業、産業の良さを知らせることも必要である。

### 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

**施策概要・目的**

結婚、妊娠、出産、その後の子育て支援や教育に至るまで、きめ細かな支援体制を関係機関と連携しながら整備し、女性に選ばれる地域づくりや環境整備に努めます。さらに、自然のなかでの子育てや、地域の見守り、地域コミュニティでの子育てなど、都会にはない尾鷲の子育ての魅力があることから、本市の魅力を生かし、子育てしたい、子育てしやすいまちづくりを推進します。

指標名	現状値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R3)
合計特殊出生率 (過去5ヶ年平均値)	1.59 (H20~24年)	1.59 (H21~25年)	1.69 (H22~26年)	1.63 (H23~27年)	1.58 (H24~28年)	1.62 (H25~29年)	1.58 (H26~30年)	1.59 (H28~R2年)	1.85
子どもや子育て支援への 満足度	2.74	2.72	2.71	2.87	2.84	2.83	2.85	2.80	3.10



KPIの達成状況 R2実績値／R3目標値			取組項目(小)の今後の方針について	
①100%	9	64%	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	1
②100%未満 75%以上	3	21%	②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	0
③75%未満 50%以上	2	14%	③特に見直しをせず事業を継続する	6
④50%未満	0	0%	④継続的な事業実施を予定していたが中止する	0
合計	14	100%	⑤当初の予定通り事業を終了する	0

**地方創生会議からの意見等**

妊娠から出産やその後の子育て支援に関しては、充実しているものと思われる。しかし、KPIの達成率は良好であるものの、合計特出率や満足度の数字に表れにくく、難しい取り組みであると推測されるが、継続して取り組んでいてもらいたい。また、そもそもの出会いの場を広域的な工夫をしながら創出していくことも大切かと思われる。

また、出産して1人目がうまく育てられると、2人目、3人目の可能性が広がる。1人目の苦痛をいかに排除していくか、未熟児であっても助けられる手法が出てきているので、そのような勉強会もしつつ、1人目のケアを重視し、安心して育てられる取り組みを行っていてもらいたい。

基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを  
守るとともに、地域と地域を連携する

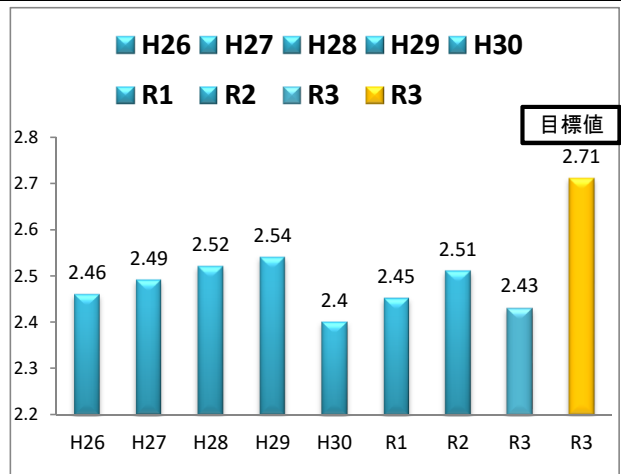
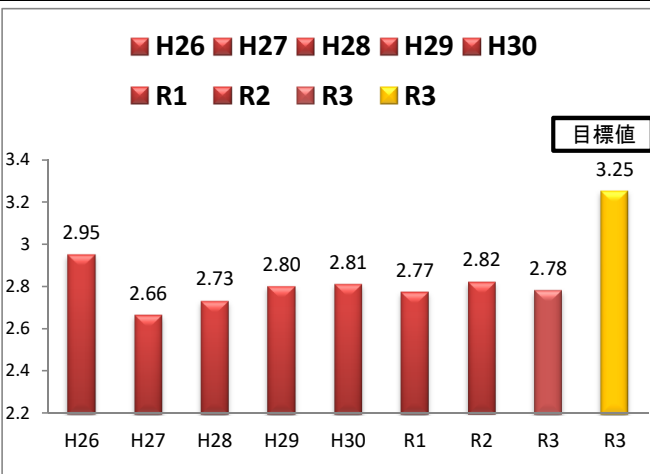
**施策概要・目的**

「しごと」と「ひと」の好循環作りを進め、人口減少対策に立ち向かうためには、好循環を支えるまちの活性化が重要となります。

このため、本戦略で取り組む「しごと」と「ひと」の好循環作りと合わせて、これらの取り組みを効果的に推進するための下支えとして、地域特性を生かした地域の魅力向上、防災力の向上などによる安心して暮らせる地域づくり、地域と地域を連携する仕組みづくりを行い、安全安心なまちづくりを進めます。

さらに、過疎・高齢化が進むなか、住み慣れた土地で暮らし続けることができるよう、市民とともに検討・構築していきます。

指標名	現状値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R3)
防災・危機管理の満足度	2.95	2.66	2.73	2.80	2.81	2.77	2.82	2.78	3.25
地域医療の満足度	2.46	2.49	2.52	2.54	2.4	2.45	2.51	2.43	2.71



KPIの達成状況 R2実績値／R3目標値			取組項目(小)の今後の方針について	
①100%	4	36%	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	1
②100%未満 75%以上	4	36%	②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	3
③75%未満 50%以上	1	9%	③特に見直しをせず事業を継続する	2
④50%未満	2	18%	④継続的な事業実施を予定していたが中止する	0
合計	11	100%	⑤当初の予定通り事業を終了する	0

地方創生会議からの意見等

防災・危機管理と地域医療については、重要度が高いうえに、市民の求める度合いが高く、満足度を上げていくことは難しいと思われるが、引き続き地道な取り組みをお願いしたい。

防災については、災害時には迅速な避難が求められることから、危険な空き家対策や避難経路の確保に努めてもらいたい。また、備蓄に関しては、家庭でのローリングストックを呼びかけていくとともに、「ものを尾鷲市内でストックしていく」という共通認識を市全体で高めていってほしい。

総合病院については、既に医師確保のために相当の努力をされているが、引き続き医療体制の堅持に向けて頑張ってもらいたい。

交通安全については、最近話題になっている横断歩道に歩行者がいる場合の停車率を高めていくことにより、交通事故発生件数を抑制していくことが期待できるので、交通意識を高めていってほしい。